

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立文化体育館 Kコート

試合区分: No. 423 少年女子 2回戦

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 東谷 昌弥

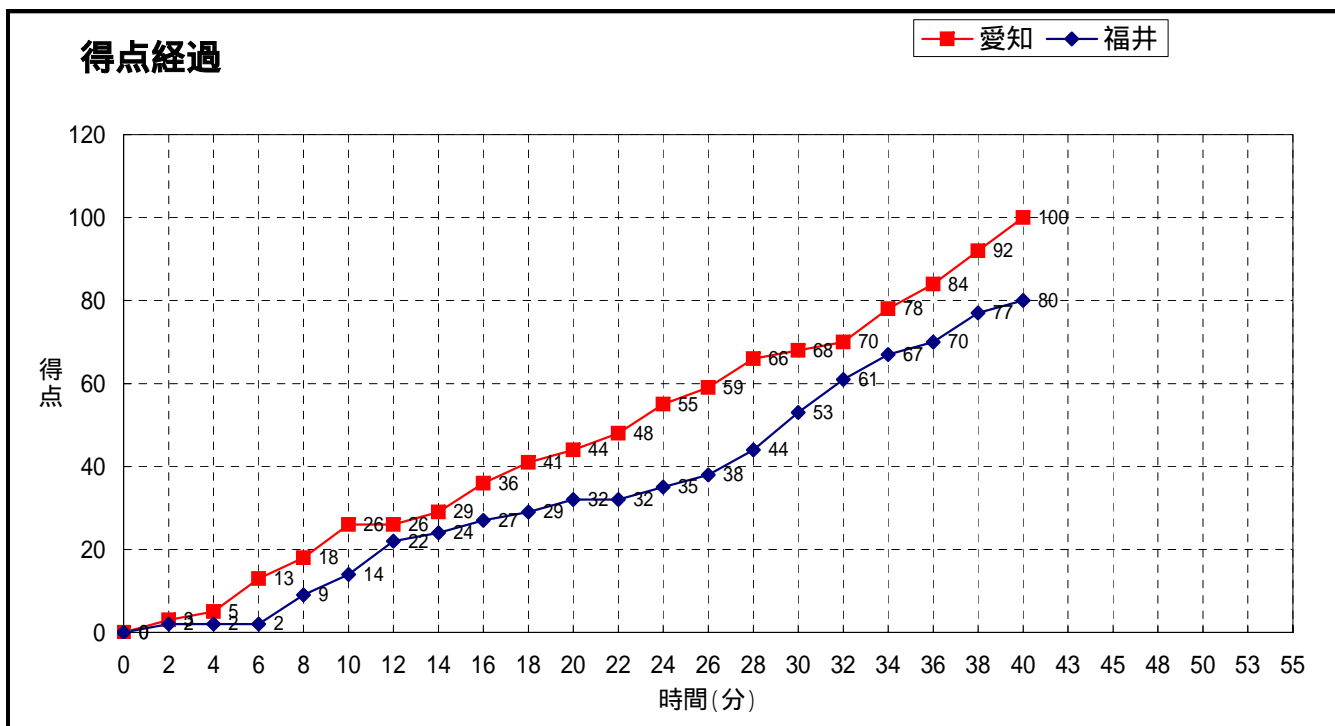
開始時間: 11:45

副審: 上田 敦史

終了時間: 13:16

愛知						福井									
100						80									
(東海)						(北信越)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	服部 直子	19	0	7	5	3	4	*	林 真未	37	5	4	14	4
5	*	堀川 夏海	16	2	4	2	3	5	*	若山 唯	12	0	5	2	3
6		和田 静香	3	0	1	1	1	6		見附 愛斗	-	-	-	-	-
7	*	吉田 千沙	13	1	4	2	4	7		平尾 舞耶	-	-	-	-	-
8	*	佐藤 詩織	13	0	5	3	3	8	*	檀尾 奈美	3	1	0	0	1
9		牛田 悠里	0	0	0	0	0	9	*	山口 晶代	10	3	0	1	4
10		後藤 彩	11	0	4	3	1	10	*	谷川 希穂実	0	0	0	0	3
11		小泉 遥	2	0	1	0	0	11		斉藤 庸子	15	4	1	1	4
12		菅沼 夏菜	0	0	0	0	1	12		山口 祥代	-	-	-	-	-
13		深野 羅定咲	0	0	0	0	1	13		三村 亜生	0	0	0	0	0
14	*	内藤 しずか	19	1	7	2	3	14		前田 智子	-	-	-	-	-
15		高田 真希	4	0	2	0	0	15		中村 藍	3	0	1	1	0
コーチ 井上 真一									コーチ 林 慎一郎						
合計			100	4	35	18	20	合計			80	13	11	19	19

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。愛知#5堀川がファールをもらい確実にフリースローを決め先制した。負けじと福井#5若山がシュートを決める。その後、お互いパスミスとシュートミスで得点につながらない。愛知は早い展開からの#14内藤の3Pシュート、#4服部のインサイドプレイ、#5堀川のジャンプシュートで得点を重ねる。一方、福井は、#4林の力強いドライブインからファールをもらい、フリースローや、#11斉藤の3Pシュートで追い上げをみせる。愛知が26-14とリードして第1ピリオドを終了した。

第2ピリオド、先制したのは福井で#11斉藤、#9山口(晶)のシュートが入り26-20と6点差までつめる。福井は粘りあるディフェンスで愛知のリズムを乱し、愛知はなかなか得点がとれない。残り6分、愛知#7吉田の3Pシュートが入り、リズムを取り戻しはじめた。残り3分、愛知#5堀川の3Pシュートが入り39-27となったところで福井がタイムアウト。福井はゾーンをしかけ、流れをひきもどそうとするが、落ち着いたパスワークで、愛知が44-32とリードして折り返した。

第3ピリオド、愛知は#7吉田のシュートで先制したが、その後のファウルが4つ目となりベンチに下がった。さらに、#4服部も3つ目のファウルでベンチに下がり、愛知は長身選手が抜けた状態になった。しかしメンバーチェンジ後も愛知は早いパス回しからシュートチャンスをもににする。福井はディフェンスリバウンドを頑張り、外角からのシュートを狙う。狙ったシュートがよく入り、#4林、#9山口(晶)、#11斉藤の4つの3Pシュートで追い上げるが、68-53と愛知が15点リードで終了した。

第4ピリオド、福井は#4林のシュートで10点差までつめるが、愛知は#4服部、#7吉田をコートに戻し、インサイドを中心に高さのあるプレイを展開し、攻守ともにリング下を支配していく。高さのある愛知に対して、福井はディフェンスでチャンスを狙うが、パス回しを確実にする愛知からチャンスを得られない。福井は#4林の2本連続の3Pシュートで追い上げるが、愛知の#4服部、#14内藤が得点を重ね、突き放す。福井は最後まで粘りのあるディフェンスと、外角のシュートで差をつめようと反撃するもとどかず、愛知が100-80で勝利した。

担当者: 鄭 碧華(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会